

次世代エネルギー産業創出コンソーシアムの取組みの紹介

設立趣旨

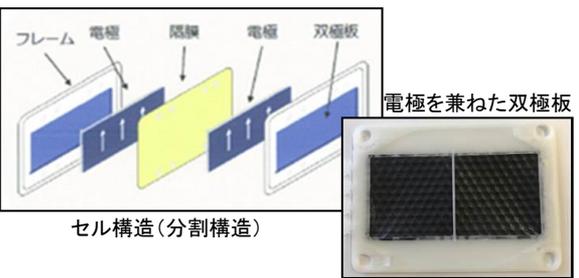
産学官が参画するコンソーシアムにおける、省エネ・再エネ関連の技術やサービスの開発、社会実装、ビジネスモデルの確立等に向けた取組みを支援することを目的に平成26年9月に設立。〔大学・県内外企業・自治体・個人等 40会員(R6.1末時点)〕

活動内容

(1) ワーキンググループ活動支援事業 (補助率: 1/2以内、補助上限: 200万円(重点事業は400万円))

2者以上のコンソーシアム会員で構成されるWGが行う、エネルギーに関する研究開発等の活動に対し、コンソーシアムから補助金を交付。令和5年度は、以下の3件のWG活動に対して支援を行っている。

バナジウムレドックスフロー電池用セル研究会



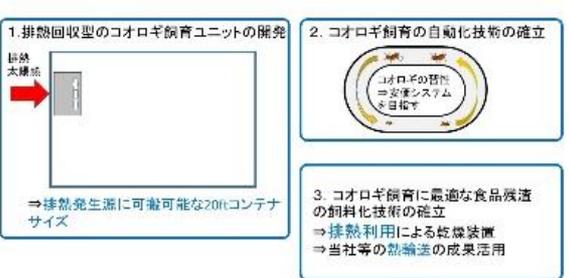
セル構造(分割構造)

電極を兼ねた双極板

海外製セルスタックの課題解決のため、双極板、電極、セルを高品質化

目標: VRFB用のセルスタックの開発

コオロギ事業の創生研究会



1. 排熱回収型のコオロギ飼育ユニットの開発
⇒ 排熱発生源に可搬可能な200Lコンテナサイズ
2. コオロギ飼育の自動化技術の確立
⇒ コオロギの管理
⇒ 安楽システム
⇒ 温度管理
3. コオロギ飼育に最適な食品残渣の飼料化技術の確立
⇒ 排熱利用による乾燥装置
⇒ 当社等の熱輸送の成果活用

排熱や太陽熱の利用によるコオロギの食品化・飼料化

目標: 排熱回収型のコオロギ飼育技術の開発

太陽光発電性能回復事業研究会



高感度赤外線カメラ
見逃し検出用光学フィルター
赤外線レンズ

PID劣化した太陽電池パネルサンプル

半導体レーザー等

制御・解析用ノートPC

劣化した太陽光パネルを低コストで性能回復

目標: 電圧誘起劣化検出と性能回復技術の開発

補助対象

- 1 調査費: 人件費、旅費、消耗品費、印刷製本費、委託費、会議費、その他(理事長が特に必要と認める経費)
- 2 研究開発費: 人件費、旅費、消耗品費、製品試作費及び性能試験費、委託費、その他(同上)
- 3 フォローアップ事業費: 人件費、旅費、消耗品費、製品試作費及び性能試験費、販売促進費、委託費、その他(同上)

次世代エネルギー産業創出コンソーシアムの取組みの紹介

活動内容

(2) 講習会等開催事業

エネルギー関連の先進的な研究開発を行う大学や、脱炭素化に向けた企業の取り組みなどを紹介する講習会および見学会を開催する。
令和5年度は、事業者による自家消費型太陽光発電や水素利用に関する取組事例を紹介した。

(3) エネルギー関係展示会出展事業

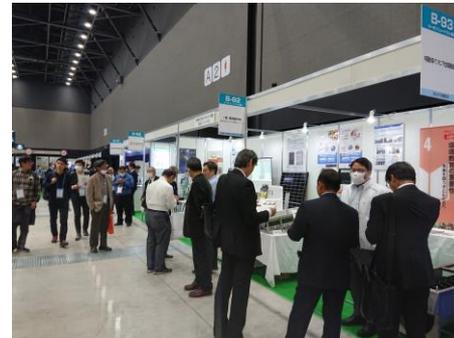
WG活動による成果や、会員企業によるエネルギー関連の取組について広く情報発信を行うため、コンソーシアムとして展示会に共同出展を行う。
令和5年度は、メッセナゴヤ2023、ENEX2024への共同出展を行った。

(4) 部会活動事業

再エネや省エネに関する特定の分野ごとの部会を構築し、勉強会等を行うことで、WGの形成や会員企業の事業活動を促進する。
令和5年度は、気象予測と脱炭素燃料に関して、それぞれ講演会やシンポジウムを実施した。



R6.2.8 中小企業のためのCO2フリーエネルギー導入に関する講演会
(岐阜市 マーサ21)



R5.11.8~10 メッセナゴヤ2023
(ポートメッセなごや)



R6.1.31~2.2 ENEX2024
(東京ビックサイト)